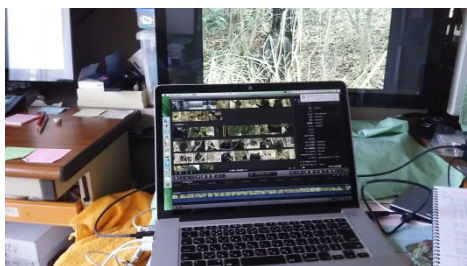


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 4 月 24 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	川口ゆり

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
日本、品川
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
アニカプロダクション訪問
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 4 月 23 日
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
PWS プログラム分担者 中村美穂客員准教授
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>4月23日、京都大学野生動物研究センター准教授 中村美穂先生のいらっしゃるアニカプロダクションを訪れた。ここにはたくさんの動画が保管されている。マハレのチンパンジーの動画もそのうちのひとつだ。現在私は「チンパンジーも赤ちゃんを選好するのか」を調べる実験をおこなっているが、その実験に刺激として用いる動画を切り出していただくのが目的であった。提供に際しては、中村美知夫先生にもご快諾いただいた。おとなあるいは赤ちゃんができるだけ単独で行動している動画を収集する必要があったが、その目的は充分達成できた。しかし、昼の休憩時間を除いても7時間は作業したが、ファイル化された1年分もないマハレの動画のうち目を通すことができたのはそのうちわずか半分ほどだった。</p> <p>資料をいただいたことだけでなく、マハレの貴重な動画を視聴することができたのは勉強になった。例えば、チンパンジーが集団で移動している後ろ姿を見ても、私は赤ちゃんにまず一番に目を向け、他の個体にあまり注意が向かないのを感じた。これはもちろん私が赤ちゃんの動画を探しているためではあるものの、たとえ後姿だけでも一般的にこういうことが起こり得るのではと感じ、新たな研究のヒントとなった。また、この年は子殺しがありその動画も見せて頂いた。見ていられないほどの凄惨な光景だった。それほどまでに極端な攻撃性と親和的な態度が向けられる対象が同じ「赤ちゃん」であるのはどういうことなのだろう。また、われわれはそれほどまでにむごい光景に対して「胸が悪くなる」、「見ていられない」、「恐ろしい」という感情を持つが、チンパンジーはそのような光景を目の当たりにしても「興奮」しかないのではないかと感じた。だとすれば、目を背けなくなる気持ちはどこから来るのだろう。チンパンジーが「加害者」の側に共感するのだとすれば、ヒトが共感するのは「被害者側」ということなのか。</p> <p>昼食を食べる際も中村美穂先生といろいろ会話し新たな着眼点を得ることができ、1日ではあったものの非常に有意義な出張となった。</p>

動画きりだし風景
<b>6. その他</b> (特記事項など)
中村美穂先生には丁寧にご対応いただき、本当にありがとうございました。中村美知夫先生にも動画使用の許可をいただいたことを厚くお礼申し上げます。また、今回の出張は PWS プログラムの支援を受けておこなっていました。

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書  
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)